



広島中央トピックス



JAの職場を見学 中黒瀬小学校



▲出荷された米の説明を受ける児童

東広島市立中黒瀬小学校2年生23人は10月23日、JA黒瀬支店と黒瀬アグリセンターを職場見学で訪れました。

児童は、支店の窓口やアグリセンターの店舗、倉庫などの施設を見学。黒瀬支店の梶谷迫一大支店長と黒瀬アグリセンターの場田和樹センター長が、「どんな仕事をしているのですか」「大変な仕事は何ですか」「アグリセンターの商品はどこから来るのですか」などの児童の質問に答えました。

児童は、子ども向け雑誌「ちやくぐりん」の食農クイズにも挑戦し、食や農業を楽しく学びました。



自慢の西条柿出荷 広島中央原産西条柿生産出荷組合

JAひろしま広島中央原産西条柿生産出荷組合は10月から11月、特産の「原産西条柿」を出荷しました。

猛暑の影響で肥大が鈍り、小玉傾向でしたが、比較的順調に生育し、上々な仕上がりでした。県内市場やJA産直市などで販売した他、贈答用として全国に発送しました。

広島中央地域本部管内は「西条柿」発祥の地で、同組合の38戸約



▲「原産西条柿」を一つ一つチェックするJA選果場の職員

14haで栽培しています。「原産西条柿」は、縦に深い溝があり、糖度が高いのが特徴です。

同組合の松井憲治郎組合長は「自慢の西条柿を多くの消費者に味わってもらいたい」と話しました。



町の宝作って地元元気に 大和小学校 特産アピール

三原市立大和小学校5年生33人は、同市大和町の特産品を使った商品開発に取り組みしています。町の宝である特産品をアピールすることで、地元を元気にするのが狙いです。

特産のハトムギとレンコンを使ったレシピを児童が考案し、同市の県立総合技術高等学校の生徒が商品化して総合技術高等学校のカフェで販売する計画です。

児童は10月上旬の2日間、地元農家やJAの施設を訪れ、食材や農業の知識を深めました。教育活動にはJA大和アグリセンターも協力。

同町で米や野菜を栽培する平野孝実さんの生産現場では、ドローンや直進アシストトラクターなど先進技術を使った農業を学びました。

JA大和カントリーエレベーターでは、ハトムギの乾燥施設を見学。同町の



▲レンコンの収穫を体験する児童

農事組合法人ユートピアかみなかでは、レンコンの収穫を体験。胸まで上げる胴付き長靴と腕手袋を着用して水を張った畑に入り、レンコンを探りながら掘り上げました。

体験した児童は「法人の人に手伝ってもらい、みんな協力してできた」と喜んでいました。

大和アグリセンターの谷杉貴志係長は「現場を見て体験することで、食や地域の農業に関心をもってもらいたい」と話しました。

水稲

令和5年産の反省と

令和6年産に向けて

◆令和5年産作況について
令和5年産の広島県の作況(10月25日現在)は、103の「やや良」でした。田植え以降に日照不足が続いた影響で分けつ数が抑制され、穂数は減少した一方、出穂期以降の日照と気温が平年を上回ったことから、もみ数が増加し、登熟も進みました。

◆等級比率について

令和5年産米 広島中央地域本部品種別等級比率

Table with 4 columns: 銘柄名, 1等比率, 2等比率, 3等比率. Rows include 早期コシヒカリ, コシヒカリ, 恋の予感, あきさかり, あきろまん, ヒノヒカリ.

2等以下の格下げ事由の45%は、充実不足によるものです。充実不足とは、もみの充実度不足のことで、養分不足は肥培管理や気象条件により発生します。令和5年産ではコシヒカリの59.4%が、高温障害による基部未熟や腹白などによる充実度不足で格下げになりました。今年の夏のように特に夜間の高温が続く場合は、かけ流しを行うなど、田の水温を下げる工夫が必要です。南部域では、特にカメムシ類による着色粒の被害が多くみられました。荒廃地の増加によりカメムシ類の生育地が増えたこと、近年の暖冬傾向から越冬する個体数が増えたことにより特に大型のカメムシ類が年々増えていることのみならずも実感されていることと思います。カメムシ類の被害を減少させるためには

- ① 除草剤散布後の水管理を徹底し、ノビエの発生を抑えること
② 畦畔の草刈りを徹底し、カメムシ類の住処を少なくする
③ 出穂前後の基幹防除を徹底する

などありますが、特に出穂前後の防除を粒剤や豆つぶ剤を使用される方は効果が発現するまで1週間程度かかることから、液剤や粉剤の散布適期より早めに散布するよう心掛けて

乳白や腹白などいわゆる高温障害は南部域のコシヒカリで多くみられたことから、耐暑性品種の「恋の予感」などへの作付け転換の必要性が強まっています。また、ここ数年の傾向は春先の気象変動が大きいことから、適地適作となるよう品種転換を図ること、極端な早植えや遅植えを避けることで良質米を生産できるように心掛けることが肝要になります。今年も、ノビエが多く発生している田も多く見られましたが、ノビエが多発すると養分を奪われ、大幅に減収するばかりでなく、カメムシ類を誘発し、品質低下を招く要因となりますので、十分な対策をお願いします。一度ノビエが多発した田は、撲滅するまでに数年かかります。ノビエ対策として次年度に取り組むことは次の通りです。

- ① 除草剤は一発に頼らず、初期・中期・後期除草剤を使用する体系処理を導入する。
② 圃場の観察を欠かさず、初発時の防除を遅れないようにする。
③ 藻が多く発生し、除草剤の効果が不安定な田については、初期除草剤を「農将軍FB」などの藻に効果がある薬剤を選択する。

「恋の予感」や「あきろまん」を中心に、土づくりや水管理など基本技術の励行による良質米生産に引き続き取り組む必要があります。

◆令和6年産に向けて

令和2年産から続いたコロナ禍による大幅な需要の減少は、令和5年産から解消傾向にあります。しかしながら、東北産が九州まで販売チャネルを伸ばした今、産地として生き残るためには生産体制を再考する必要があります。そのなかにおいて、「恋の予感」が令和3年産と4年産で連続して特Aを取得したことは大きな成果でした。今後はさらに需要に応じた作付けを行なうことが重要になります。他産地との差別化を図るためにも広島県産米の独自性を発揮できる



野菜

次年度の作付計画を考える

冬本番となり、夏秋野菜の栽培圃場は収穫後の片付けが終了した頃だと思えます。年が明けると、早いもので春・夏野菜苗や種子の注文が始まります。時間のあるこの時期に、今年栽培した品目を振り返るとともに、翌年の作付計画をしっかりと検討しましょう。

◆前作を振り返る

多くの野菜は連作(同じ場所で同じ科目の野菜を作付すること)を繰り返すと、土壌病原菌の密度が上がリ、生育が悪くなることがありこれを「連作障害」と言います。これを防ぐため、前作に何を植えたか、またどのような病害虫が発生したか等を書き出して振り返ることが重要です。

◆連作障害はなぜ起きる?

土壌中にはさまざまな菌・微生物があり、栽培に必要な有用菌や、生育を阻害する菌や病害を発生する菌などがあります。前作の野菜に土壌病害が発生すると、土中には病気を発生させる菌が多く存在する状態になります。その圃場で同じ科目の野菜を栽培するとさらに病気を発生させる菌が増えてしまいます。そして、圃場の一部で発生した病気が農機具に付着した土などで移り、翌年には圃場全体に連作障害が広がることとなります。

◆連作障害を防ぐには?

- ① 前作と同じ科目の野菜は同じ場所に植えない
② 土壌診断を活用して土壌状態を確認し、堆肥や石灰を施用して有用菌の割合を増やす
③ 農具や機械を出来るだけ消毒するなどの対策があります。



◆野菜の科目一覧(代表例)

Table with 2 columns: 果菜類 (なす科, ウリ科, イネ科, アオイ科, マメ科, パラ科, アブラナ科) and 葉茎菜類 (ヒユ科, アカザ科, ユリ科, キク科, シソ科, ショウガ科, タデ科, ウコギ科, せり科).

Table with 2 columns: 根菜類 (アブラナ科, ナス科, ヒルガオ科, ヤマノイモ科, サトイモ科, キク科, せり科, ショウガ科, オモダカ科) and 休耕期間(代表例) table.

◆休耕期間(代表例)

Table with 2 columns: 輪作年限, 野菜の種類. Rows include 1年休耕, 2年休耕, 3~4年休耕, 4~5年休耕.

※連作障害の一般的な対策として、接木や抵抗性品種を用いる方法があります。

Information お知らせ

家の光・地上・ちゃぐりん 年間購読のお知らせ

『家の光』好評連載

A1-54



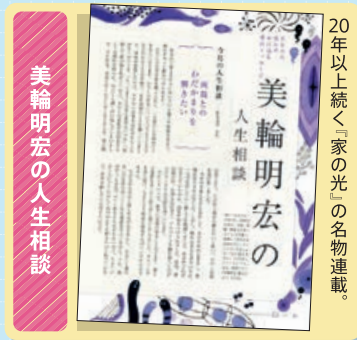
心も体も上向きに
高尾美穂のらくヨガ

産婦人科医でヨガ指導者の高尾先生が、体調の悩みに効果的なヨガ体操を紹介。



スマホ道場

いまさら聞けないスマホの使い方、便利な操作方法を漫画で解説。



美輪明宏の人生相談

20年以上続く『家の光』の名物連載。



おトクにガッチリ！
暮らしのマネー情報局

お金をまつわる「トクする」情報をわかりやすく解説。



手芸

「Tシャツヤーンで作る
足ふきマット」



手軽に作れて、
個人でも、
仲間同士でも楽しめる！

などなど
ぜひご覧ください！

■年間予約購読(前納)誌代(税込) 誌代1年分を前納すると普通月号1か月分が無償

誌名	月号	定価	年間定価合計	無償分	前納誌代
家の光	普通月号	629円	9,411円	629円	8,782円
	付録月号 (1・2・3・7・9月号)	922円			
	付録月号 (6月号付録付巻12月号)	1,027円			
地上	普通月号	618円	7,540円	618円	6,922円
	付録月号 (4・11月号)	680円			
ちゃぐりん	普通月号	492円	6,156円	492円	5,664円
	付録月号 (1・4・8月号)	576円			

※原則として、年間予約購読(前納)の中途解約はできません。

年6回別冊付録が付いています

手に置いて、繰り返し読みたいものばかり

永久保存版に！



お申込み・お問い合わせは、お近くのJAアグリセンターへ

購買品年間供給履歴配布のお知らせ

購買品年間供給履歴のご提供を次のとおり行ないます。令和5年の農業申告添付資料として購買品の履歴が必要な方は、最寄りのアグリセンター窓口までお申し込みください。

サービス開始日 令和6年1月22日(月)

履歴期間 購入日基準 令和5年1月1日～令和5年12月31日
決済日基準 令和5年1月25日～令和5年12月25日

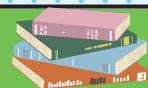
農機センター休業のお知らせ

年末年始は次の期間中、休業させていただきます。休業期間中はご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

令和5年12月28日(木)
～令和6年1月8日(月・祝)

東広島市
園芸センターより

志和アグリ図書館 出張サービスについて



毎月第2、第4火曜日に園芸センター内にある志和アグリ図書館へ図書館員が出張して、図書館サービスを行なっています。

サービス内容

- 志和アグリ図書館と東広島市立図書館の本の貸出と返却の受付。
- 東広島市立図書館のカードの新規利用登録の手続き。
- 読みたい本や探している本の検索や相談、予約の受付。
- 調べものの相談とその本や資料、情報の紹介。

・農文協が発行した『現代農業』『農業技術大系』などの書籍や農作業に関するビデオが多数収録されたデジタルコンテンツ「ルーラル電子図書館」の閲覧。

12月の出張日

12月12日(火)・26日(火) 10:00～13:00
その他、平日9:00～16:30は、館内の農業関係の本を自由に閲覧できます。

問い合わせ

東広島市園芸センター TEL 082-433-4411